



第82回

## 私のスケッチブック

### 「アルルの昼下がり」

アルル／プロヴァンス（フランス）



プロヴァンスは結構広い地域です。アルルはロース川東岸ですから、アヴィニオンからは列車で一時間弱離れています。この地域は地中海性気候で日差しは強いのですが、乾燥した夏と温暖で穏やかな冬は過ごし易い所です。

古代ローマ時代から中世にかけて繁栄した歴史の街で、「ローマ遺跡とロマネスク様式建造物群」として世界遺産に登録されています。この作品は、円形闘技場の階段の上から街並みを描いています。実は二度訪れていますが、何故か？この構図しか描いていないのです。余程、印象的だったのでしょうか。

「アルル」と言うところ…ヴィンセント・ゴッホ、ローマ遺跡、ピゼーの組曲「アルルの女」が浮かびます。私は、絵を描く事が趣味ですから、やはりゴッホが一番！

1888年、ゴッホは眩しい太陽と光の輝きを求めて、この地に移住し私の大好きな作品「夜のカフェテラス」

を描き上げます。街の中心部近くのフォーラム広場にこの作品を描いたCaféがあります。このお店は多くの観光客で賑わうので、通りの反対側のCaféで休憩。また「アルルの跳ね橋」と言う作品を描いた場所は既になく、今は移築されています。「ロース川の星月夜」なる作品がありますが、これは感動モノ。「夜カフェ」に劣らぬ名作です。

お土産モノは、プロヴァンスの伝統的な生地「ソレイアード」がおすすめ。プロヴァンス・プリントの伝統的な植物が図柄に使用され、アネモネ・オリーブ・ラヴェンダーなどが温もりのある色調に包まれて、テーブルクロスなどに使用されています。

アルルを訪ねたら…ゴッホが病で療養した「サン・レミ・プロヴァンス」やワインで有名な「レ・ボー・ド・プロヴァンス」まで足を延ばす事もおすすめします。

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。  
2017年開催「第68回 全国カレンダー展」に9度目の入選を果たし、その実力を発揮する。  
<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

検索